



令和2年度
学校だより
No.14

【目指す児童像】

若竹

・明るく元気な子
・思いやりのある子

・意欲的な子
・誠実な子

令和3年3月19日
戸市立千波小学校

・よく考える子
・進んで働く子

第46回卒業証書授与式 たくさんの思い出をありがとう！

昨日、桜のつぼみがほころび、晴天に恵まれた中、第46回卒業証書授与式が本校体育館で行われました。新型コロナウイルス感染症対策に伴い、内容の短縮や参列者を制限した中での開催でした。卒業証書授与では、校長から卒業生120名全員に一人一人に卒業証書が手渡されました。思い返せば4月、感染症拡大防止対策のため始業式から3日間で臨時休業になり、分散登校を経て6月より全校でスタートした本年度でした。様々な制約を受ける中、ミニ秋祭りや校内陸上記録会、かみね動物園での卒業遠足、偕楽園での校外学習…等、いろいろな行事を工夫と苦労を重ね、実施してきた6年生でした。「別れのことば」は映像での披露で、合唱曲「いのちの歌」は歌うことはできませんでしたが、卒業生一人一人の言葉はしっかりと伝わりました。「いつでも素直にがんばる6年生」ぜひ中学校でも実力を発揮してください。ご卒業、誠におめでとうございました。お祝いメッセージや式場作成など、6年生を送るために在校生もがんばりました。6年生から受け継いだ伝統をがんばって繋いでいきましょう。



各学年
からのお祝い
メッセージ
↓



千波小6年生 うわさばなし コソコソ噂話

○菜の花のプレゼント

本年度の6年生は、本当に働き者でした。4年生の頃からずっと千波小の伝統「ちょボラ活動」に取り組んできました。朝、気が付くといろいろ



な所をきれいにしてくれていました。最後は千波幼稚園もきれいにしていました。その際、「風で落ちていたので校長先生にプレゼントします。」きれいな菜の花が一時期、校長室に飾られていました。ありがとう6年生。

○何か手伝うことはありませんか

卒業に向けて6年生からいただいたお手紙には「先生たちは、私達のためにいつも一生懸命働いてくださり感謝します。できたら先生方のお手伝いが何かできればと思っています。卒業まで何か用事があったら気軽に声をかけてください。」この一年間6年生は、いつ声をかけても手伝いや仕事を快く引き受けてくれ、がんばってくれました。ありがとう6年生。

○最後のアンケートから

多くの学校行事が制約を受けた中、この一年間の一番の思い出を聞いたところ。6年生の一番多かった思い出は「みんなと学校で過ごした毎日、みんなと学校で遊んだ毎日」でした。そして、「大変だったし、行事が次々と無くなって悲しい年だったはずなのに、何かずっと笑っていた気がします。」この感想に思わずぐっとしてしまいました。本当にありがとう6年生。

今後も学校だより「若竹」を通して学校の様子をお伝えしたいと思います。よろしくおねがいします。
「若竹」カラー版や千波小の日々の様子は 千波小ホームページから <http://www.magokoro.ed.jp/senba-e/>